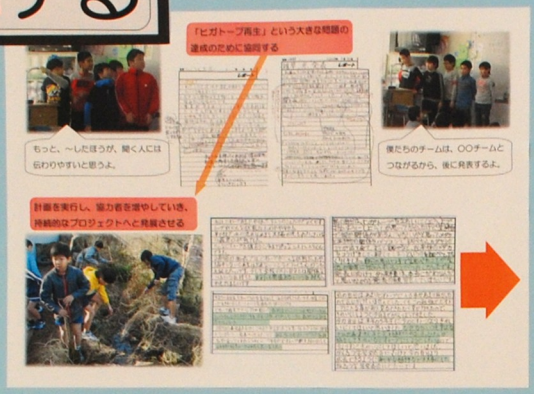
環境学習発表会

広げる

こどもの姿



本時の授業

ヒガトープ再生プロジェクト

学習過程

解決チームごとに、計画を発表し、チーム間のつながりを意識し、聞く人に伝わるか、助言し合う。

→ 計画したことを協力して実践し、ヒガトープの自然環境を整える。

→ ヒガトープの現状と改善策について、調べたことや実践してきたことをもとに、環境学習発表会で伝える。ヒガトープへの問題意識や、改善への展望を聞く人にもってもらう。

→ ヒガトープの取扱説明書を作り、自分たちだけでなく、他の学年や地域の人にも、ヒガトープ再生に協力してもらえるよう伝え、活動を広げる。

授業づくりの視点

自我関与を高めるための教材開発

チームのつながりを意識させることで、ヒガトープ再生プロジェクトにとって、どのチームも欠かせないことを自覚させる。

自分のチームが問題の解決に貢献しているというメタ認知から。学習問題への自我関与を高める。

考えを表現する学習過程の工夫

ビオトープを望ましい姿にするために、「実践して変化したこと」と、「予定している計画と展望」を全校に伝え、ビオトープの生態系の再生に期待をもってもらう。

環境アスリート協会に所属する元オリンピック選手や元プロスポーツ選手に、自分たちの取り組みを伝えることで、広い視野から評価をしてもらい自己の有用感を感じさせる。

評価の工夫

問題を把握した段階の予想と、問題を解決した後（実践や計画を伝えること）の結論を比較させることで、自分の考えの変容に気づき、達成感を味わわせる。